

成果報告書

被災者の孤立を防ぐ個別的支援とコミュニティ力向上のための事業

「個々の被災者の状況に合わせた総合的な支援調整活動」

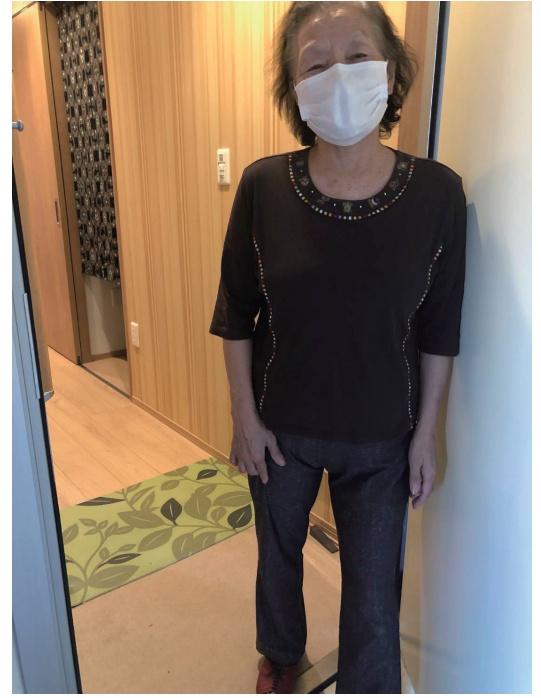
新型コロナウイルスの影響もあり、個別訪問は限定的となりましたが、復興住宅にお住まいの方々や住まいを再建された方のところへ個別訪問を実施させていただきました。

また、関係機関との連携も模索しました。こちらも当初の予定通りとは行きませんでした。主に NPO 法人 SKY 協働センターの方々と連携をしながら、事業を進めさせていただきました。

NPO 法人 SKY 協働センターの活動もかねて、みなさまに使っていただけるベンチも設置いたしました。

個別訪問回数：46回

個別訪問人数：95人



「コミュニティの強さを生かした防災まちづくり活動」

こちらの活動も、新型コロナウイルスの影響によって縮小して実施をしました。当初は、防災まちあるきやワークショップを検討していましたが、感染対策も考慮し、専門家の方による防災講演会に変更させていただきました。

兵庫県立大学減災復興政策研究科の澤田准教授にお越しいただき、坂町の地理条件などを視察いただいたあとに、コミュニティで取り組む防災活動についての講演を実施させていただきました。人数は少なく制限させていただきましたが、熱心に聞いていただき、特に住民協など地域の取り組みの重要性を認識していただき、今後の防災の活動に参考にさせていただくことができました。

講師：澤田雅浩氏（兵庫県立大学減災復興政策研究科）

講演会日時：11月28日

参加者：12人



被災地 NGO 協働センター

The NGO Collaboration Center for
HANSHIN QUAKE Rehabilitation

〒652-0801

兵庫県神戸市兵庫区中道通 2-1-10

TEL:078-574-0701/FAX:078-574-0702

E-mail : info@ngo-kyodo.org

「コミュニティの強さを生かした防災まちづくり活動」

当初は、防災まちあるきやワークショップを通して防災マップづくりを進めていく予定でしたが、新型コロナウイルスの影響もあり、実施が難しくなりました。

そのため、次の災害に備えるツールとして、災害の記録を映像として残すための動画作成を実施しました。災害の経験をした4人の方にインタビューをし、当日の経験や避難所での生活、その後の復興までのプロセスを記録しています。

災害時の避難については、やはり早期に避難することが重要であることが、改めてインタビューを通して明らかになりました。また、避難所での生活環境も非常に厳しい状況となります。日頃から避難訓練の中で、避難所の環境改善についても考えていくことが重要だということがわかりました。

災害当日の映像なども盛り込み、災害による被害がどのようなものだったのかを視覚的にも理解していただけるものになりました。

この動画をご覧いただき、災害からの避難や日頃の防災について考えていただく機会としていただければ幸いです。



ご協力いただいた団体

NPO 法人 SKY 協働センター

西側地区住民福祉協議会

坂町地域支え合いセンター

坂町保険健康課

坂町社会福祉協議会

NPO 法人ひろしま NPO センター

兵庫県立大学減災復興政策研究科



独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業